

近江八幡市地域おこし協力隊【まちづくり・移住定住業務】

募集要項

【令和6年4月15日更新】

1. 概要

近江八幡市は滋賀県のほぼ中央、琵琶湖の東側に位置し、JR京都駅まで約30分、大阪駅まで約1時間と近隣都市部から近く、交通の利便性に非常に恵まれたまちです。

観光、歴史、文化資源も豊富であり、滋賀県内の観光入込客数が最多の「ラ コリーナ 近江八幡」をはじめ、近江商人ゆかりの「まちなみ」や「八幡堀」、織田信長が築いた「安土城跡」、日本唯一の淡水湖で人が暮らす島「沖島」やラムサール条約登録湿地「西の湖」が点在しています。また、近江牛の生産量は県内随一であり、近江米のほか、ニゴロブナやホンモロコに代表される湖魚など、食の宝庫であり、魅力に溢れています。

全国的に人口減少・少子高齢化が進展する中、近江八幡市も例外ではなく、時勢の変化に対応したまちづくりを進めていく必要があります。

近江八幡市では「人がつながり 未来をつむぐ 『ふるさと近江八幡』」を将来のまちの姿として掲げ、「人と人のつながり」を大切に市民と行政との協働のもと、様々な課題に対し、自然や歴史、文化を守るとともに、それらの資源を活かした活力ある地域をつくり、次の世代が地域に愛着と誇りを持てるよう引き継いでいけるような魅力あるまちづくりの推進に取り組んでいます。

この実現に向け、地域活動の企画を行い、地域に新たな活力を生み出すことができるような人材、また、本市の人口維持に向け移住希望者の相談や魅力を発信することができる人材が必要であると考えています。

活動を通じ様々な人と出会い、信頼関係を築きながら、魅力あるまちづくりに一緒に取り組んでいただける地域おこし協力隊を募集します。

2. 募集人数

1名（任期は最長3年）

3. 活動内容

以下の活動に取り組んでいただく予定です。詳細は、採用後に改めて市と協議の上決定します。

(1)地域住民が交流できる場づくりに関する企画・推進

(活動の場としては老蘇学区を想定しています。老蘇学区は令和2年度にまちづくりプランを策定し、住民主体型のまちづくりに取り組まれています。※概要等は別紙参考)

(2)移住希望者への情報提供や相談(地域情報、空き家情報、求人情報等)

(3)空き家の利活用に関する企画・推進

(4)その他面白い企画や素敵な企画の立案や定住に向けた活動(起業等)など(提案型)

4. 募集対象者

4-1. 必須要件

- (1) 令和6年4月1日時点で概ね40歳までの方。
- (2) 三大都市圏をはじめとする都市地域等に居住している、または地域おこし協力隊であった方（同一地域における活動2年以上、かつ解嘱1年以内）で、隊員としての活動が決定した後、近江八幡市に住民票及び生活拠点を異動できる方。
※地域要件は、総務省が定める「地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーの地域要件」による。詳細は総務省ウェブページに掲載されている「特別交付税措置に係る地域要件確認票」を確認してください。
- (3) 活動期間終了後も、近江八幡市で引き続き定住を考えている方
- (4) 心身ともに健康な状態で地域活動に意欲をもって積極的かつ誠実に活動できる方
- (5) 普通自動車免許を有する方(AT車限定も可)
- (6) パソコン（ワード、エクセル、パワーポイント）の操作ができ、SNS等を活用した情報発信ができる方
- (7) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方

4-2. 歓迎要件

次の①～④の何れかに該当する方については、優遇採用。

- ① 不動産、建築に関する資格（宅地建物取引士、建築士等）を有する方。
- ② 不動産会社又は空き家に関する仕事に5年以上従事した方。
- ③ その他、本市が認める業務の実施における専門的なスキルを持った方（例：WEBデザイナー、栄養士、調理師等）。

5. 活動場所

- ・ 市内公共施設（老蘇コミュニティセンターを想定）。
- ・ 活動内容により、自宅や市内コワーキングスペースでのリモートワークも可。
- ・ イベント等については首都圏等への出張有。
※基本的には自由に活動いただきます。

6. 活動時間

月160時間程度(原則として、1日8時間、1週間につき40時間以内)

※活動は原則平日となりますが、土・日・祝日の活動もあり、その場合振替対応とします。

7. 活動期間

1年間とします。ただし、初年度は委嘱した日から令和7年3月31日までとし、隊員と市の合意のもと、委嘱した日から最長3年まで期間を延長することができます。

委嘱日(活動開始日)については、令和6年6月～8月を予定しており、候補者との協議により決定します。※期間内で都合がつかない場合等は、市と協議の上、委嘱日を決定し、可能な限り考慮します。

8. 任用形態

近江八幡市地域おこし協力隊設置要綱に基づき、市長が委嘱します。
本市と雇用契約及び雇用関係はありません。

9. 報償費・活動経費

9-1.報償費

月額254千円

※上記「4-2.歓迎要件」に該当する場合。

なお、該当しない場合は、月額193千円。

※支払時には所得税を源泉徴収して支払います。

※雇用関係にないことから、所得税の年末調整は実施しません。自ら税務署への確定申告が必要です。

※これに加え、従事期間の実績により期末手当を支給します。

・歓迎要件該当：最大571千円×2（6月、12月）

・歓迎要件該当なし：最大434千円×2（6月、12月）

※初年度について、月途中で委嘱した場合は、日割り計算して支払います。

9-2.活動経費

報償費とは別に市との契約に基づき、委嘱期間に応じて活動経費を支給します。

※下記「10.その他、諸条件」(2)(3)

10. その他、諸条件

(1)活動期間中の国民健康保険料、介護保険料、国民年金保険料などは、隊員の自己負担となります。

(2)活動に要する経費(活動旅費、消耗品費、研修会参加費等)は、別途、市の予算の範囲内で、市と隊員が委託契約を締結し、その委託料の範囲で支出します。

(3)活動期間中の住居は、民間の住居を借りていただくこととなります。家賃については、31,000円を上限とし、上記(2)の中から支出することができます。また、住居に係る初期費用、光熱水費、インターネットなどの通信料、転居に係る費用、生活備品等は隊員の自己負担となります。

(4)活動に支障をきたさないことを条件に、兼業を認めることがあります。その場合は事前に市へ届け出て、許可を得る必要があります。

(5)活動期間中であっても次に定める場合は、委嘱を取り消す場合があります。

①自己の都合により解任を申し出たとき

②傷病、事故等により、活動が継続できなくなったとき

③活動を怠ったとき

④地域おこし協力隊の信用を傷つけ、又は市の不名誉となる行為を行うなど、隊員としてふさわしくないと判断したとき

11. 募集期間

令和6年4月15日(月)から令和6年5月13日(月)まで

12. 応募方法

下記 13.提出書類を、11.募集期間 内に必着で、近江八幡市総合政策部企画課まで郵送又は電子メールにて送付するものとする。電子メールの場合は、写真や添付書類が読み取り可能な画質を確保し、PDF ファイル形式で送付するものとする。郵送の場合は、応募した書類については返却しないものとする。

13. 提出書類

(1)近江八幡市地域おこし協力隊【まちづくり・移住定住業務】応募用紙(様式 1)

(2)住民票の写し(本籍・続柄・マイナンバーを省略したもの)

※地域要件の確認に使用します。

(3)活動提案書

様式は任意としますが、用紙サイズはA4判で2、3枚程度とします。

テーマは「近江八幡市の協力隊員として、これまでの自分の経験や能力をどう活かすか」について、志望動機を含めて記載してください。

※その他、今までの近江八幡市に無かったような面白いまちづくり企画や提案などを含めていただいても構いません。自由に作成ください。

14. 選考方法

(1)第一次選考(書類選考)

提出書類により、応募資格、書類の形式について審査します。

応募者が10名に満たない場合は、第二次選考とあわせて行う場合があります。

結果については、令和6年5月下旬に郵送又は電子メールで通知する予定です。

(2)第二次選考(面接試験)

A「個人面接」、又は、B「個人面接、集団討論」の何れかにより行います。

なお、Bについては第二次選考受験者が4名以上の場合に実施する予定です。

日程は、第一次選考の結果を連絡する際に通知します。(6月中旬予定)

会場は、近江八幡市役所(近江八幡市桜宮町236番地)を予定しており、面接に係る交通費等は自己負担となります。

(3)最終選考結果の通知

上記の選考により近江八幡市地域おこし協力隊の候補者を決定し、第二次選考の日から概ね2週間以内に文書で通知します。委嘱の日については、令和6年7月以降を予定しており、候補者と市で協議の上決定します。

15. 担当

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地

近江八幡市総合政策部企画課 担当：茶谷、野田

電話：0748-36-5527(直通：平日9:00~17:00)

E-mail：010202@city.omihachiman.lg.jp